



私たちは花が好き。緑が好き。人が好き。

園芸福祉ふくおかネット

ネット通信 花便り

No.31 (2014年 3月号)

■ ランの苔玉



福岡市植物園で開催された苔玉づくり講座での作品です。

■ 花栽培指導歴38年



実践事例発表会に先立ち基調講演をしていた吉田博美講師です。お話は園芸福祉活動に役立つと思います。

総会と講演・事例発表会のご案内

春陽の候、会員の皆さまには益々ご清栄の事とお慶び申し上げます。

園芸福祉ふくおかネットも、皆さまのお陰で、第11回総会を開催する運びとなりました。

当日は、吉田博美氏の基調講演や事例発表会も企画しております。皆さま、時節柄お忙しいとは思いますが、万障お繰り合わせの上ご出席くださいますよう、ご案内申し上げます。

日時 平成26年4月19日（土曜日）10：30～12：00

受付：午前10時より行ないます。

平成26年度の年会費2,000円をお願い致します。

内容 園芸福祉ふくおかネット第11回総会 10：30～12：00

講演、事例発表会（別紙参照） 13：00～16：30

交流会 17：30～

参加費 3,000円（当日会場受付でお願いします。）

場所 福岡市博多区博多駅前2-1-1
福岡朝日ビル地下1階16号室
電話 092-431-1260

※ 会場の位置図は、次のページにあります。



「釜山—福岡姉妹都市庭園」作庭の旅

木村 洋子

2月25日から3日間 韓国釜山広域市へ行ってきました。

今回の目的は友好庭園建設のためです。

訪問団の構成は学生10名、市民・行政メンバー13名の計23名。主役はなんとといっても若い好青年たち。彼らは西日本短大緑地環境学科の学生さん10名です。釜山広域市の呼びかけにより、福岡市都市緑化推進行事実行委員会の活動の元、昨夏8月からワークショップを繰り返しながら、庭園のデザインを実施しました。1月から韓国側の手で建設が始まりましたが、主要になる竹垣と、飛び石の設置は日本のメンバーで。訪問2日目の作業、午後から雨になり、ぬかるみの作業となりました。韓国の東亜大学造園科の学生さん達も加わり、さすが！若者達です。あっという間に「和気あいあい」で通訳さんに言葉を教えてもらいながら、身振り手振りのコミュニケーション。みんなびっしょりの「濡れ鼠」になりましたが、爽やかな笑顔がとても印象的でした。庭園は251㎡の面積の中に、飛び石や延段を配置した回遊性のある庭で、周辺の庭とのつながりを持たせた交流庭園らしい構成になっています。建仁寺垣で仕切り、園路との縁を切ったことで、奥行きのある日本庭園様式を醸し出していて、山もみじやソヨゴなど植栽の緑は落ち着きある日本美を見せてくれるでしょう。さて、この市民公園は釜山の中央部あり、市の主要プロジェクトの一つとして整備が進められ、公園内には現在、姉妹都市である「福岡市」・「上海市」・「ウラジオストク市」の3都市の友好庭園が建設されています。

該当する釜山鎮区一体の、この公園敷地は32haという広大な面積で、戦後は長い間、米軍基地として使用されていたそうです。 紆余曲折の都

施工前のミーティング



延段の施工打ち合わせ



延段施工

飛び石の据え付け



建仁寺垣の建込み



延段の石据え付け



季節の花々



市計画の末、思い切った公園化プロジェクトで良好な都市環境が推進されています。

周辺の地域から数多くの木々が移植され、何十年後には広大な「都心の森」になることでしょう。

いずれの国でも 過去と未来をつなぐ取り組みには、自然の樹木や緑の営みは欠かすことのできない大切なツールです。 国交間の友好も含め、今回はその重要な架け橋のパートナーが若い学生さん達であったことは、本当に素晴らしいことでした。今後の環境改善の大きなきっかけとなったと信じています。



友好庭園の完成です。



研修会は真剣そのもの



お互いに見比べながら考えて、よりよい作品作りを目指します。



完成作品を前に



笑顔がステキです



身近な花々



パパもママもはまる「苔山づくり」

井上 妙子

<苔山づくり研修会>

2月23日、園芸福祉の庭の定例作業後、苔山作りの研修会をしました。子供用バージョンは、作りやすいようにエコ皿の上に二つの大小の山を作り、大きな山には、今回ジュリアンを植えハイゴケかチョウチンゴケを糊ではりつけ、小さい山にはリュウノヒゲなどの大きくなならない植物を置きギンゴケを張りました。

大人用バージョンは、エコ皿一杯に大きな山を作り2種類の樹木類を自然の風景を思い描きながら配置をきめ苔を張り付けて行きます。

黒瀬さんより「四季や景色を表わしていいね」とコメントをいただき、他のスタッフからも教えやすいと好評でした。苔山づくり最初の一步でしたが、これから先こけ玉同様進化していくことを期待しています。

(講師) 井上

(参加者) 谷口、山崎、黒瀬、魚谷、嶋添、二俣、坂口、村口

<こどもっとだいがく>

講座は午前、午後の2回アイランドシティ中央公園の研修室で、こどもっとだいがく「苔山づくり」が開催されました。総勢55名の参加者がありました。子供たちに興味を持ってもらうように、苔を数種類名前をつけて展示しました。

女の子よりも男の子の方が苔に興味を持っているように見受けられました。質問も活発にでて、自分で苔を育ててみたいと目が輝いていました。作っている途中で一人の男の子が手持無沙汰でボーとしていたので声をかけると指で隣の席を指したので見ると、何と子供そっちのけでパパとママが必死で苔貼りに夢中になり、子供はふてくされてしまいました。

また、孫に付き添ってこられたジイちゃんバアちゃんも一緒に作られ、苔山作りが出来て良かったと大喜びです。家に帰られてからの会話もはずんだことでしょう。

修了証書を1人ずつ手渡してから、上手に出来あがった苔山を持って記念写真を撮り講座を修了しました。

スタッフのみなさま、一日中本当に御苦労さまでした。

ありがとうございました。

(講師) 井上

(スタッフ) 山崎、魚谷、嶋添、二俣、坂口、村口

※4月12日・13時～15時で、「花しるべガーデニングショー」のイベントとして苔山作りを緑のコーディネーターとして井上・山崎そしてスタッフに国松が講座を担当します。興味のある方お手伝い歓迎します。



キャッツミントは猫が好き??

山崎 博子

冬越ししたキャッツミント、一株からたくさんの芽が出ています。種をまいたり、挿し芽をしたりして子孫繁栄を願う私。

50ポットさし根をしました。翌朝見ると、ポットから苗が抜かれています。誰の仕業? 不思議だった。次の朝見ると、またもや。踏んだ跡もあり、たくさん抜かれています。



もしや、キャッツって猫、「猫のミント」? インターネットで調べたら、キャットニップは猫の好物って書いてある。

通りすがりに葉っぱをかじったりするらしい。どちらも、イヌハッカ属です。匂いがとても強い、このにおいが好きなのね。

ノラ猫ちゃんが多く来訪する我が家。イヌ用のゲージの中で育種をします。ヤレ! ヤレ!

(上の写真は、宗像市吉田邸のキャットミント)

園芸福祉ふくおか
ネット広報誌発行

〒810-0033

福岡市中央区小笹1-
9-25

電話：(黒瀬)

090-8626-1586

ネット通信 花便り

編集者

谷口 博隆

◆ あなたも活動紹介をしませんか?

- ◎個人やグループ、学校、施設、地域などで行っている園芸活動をお知らせください。
- ◎メールやお手紙に写真を添えてお送りください。

● 送り先/〒810-0033 福岡市中央区小笹1-9-25

園芸福祉ふくおかネット事務局 黒瀬 恵子 宛

Eメール：engeifukusi.fukuoka@hya.bbiq.jp

ベイサイドの花植え

美しい声が大広間
いっぱい広がる

ルピナスで楽しく歌っている人々をイメージしてデザイン



ベイサイドのプランターの補植作業

九大病院・馬出フラワーボランティア
金澤美恵子

3月5日(水)と10日(月)にベイサイドからマリンメッセ福岡・博多湾国際ターミナルまでのあいだ、約0.5kmを海岸線の上に80個のプランターが設置してあります。その中の花がら摘みや枯れた花の撤去と植替えを行いました。実は去年11月頃九大病院フラワーボランティアの古荘会長よりプランターの花の植替えをしてみないかとのお話があり、意見を聞かれましたので、潮風の強い、この海岸線は花にとって悪条件であり、大丈夫かなと思いました。植えるとしたら、少し背の高いキンギョソウとビオラ・アリッサム・それにチューリップの球根ではと提案しました。結果、交通費等の有償ボランティアで行うことで先方の了解をとり、12月12日に青崎ご夫妻の応援と古荘会長、二俣さん以下の九大メンバー11名で植替え作業をしました。何しろ大変でした。花の配置が十分にされてなく、行ったり来たりで作業ロスがあり、約5時間以上かかりました。会長も初めての事で、みんなに平謝りでした。ここの最大の問題は水道の栓がベイサイド側にしかないことで、水やりの問題が大いにありと感じました。今回は植えた花の中で、やはり背の高いキンギョソウが特に吹き抜けるところで強風でやられており、約100本をビオラに替えました。翌日から春一番の強風が吹き、ここは背の高い花をどのようにして選んで植えるかが問題点と感じました。今回の冬場は雨が適度に降ってくれましたので、水遣りはしませんでした。夏場はもしやるとすれば大いに大変ではないかと思っています。

気候が温くなりましたら、土、日はベイサイドから海岸線を3両編成の小さなトレインが走っています。チューリップが咲く季節プランターを見に是非行ってください。

♪ 花と音楽、こころ通い、若返り (^^) ♪

園芸福祉士 谷口 博隆

近年アンチエイジングという言葉を目にする機会が多いように思う、私が副会長を務める薦野区自治会では、こものいきいきおんがっこう「薦野生き生き音学校」(音楽療法)を昨年に続き開校、今年も数十名が参加されています。

この活動は、古賀市の介護支援課が24年度から地域の介護認定者を除く、65歳以上の方を対象として10月から2月までの木曜日10時半から1時

歌声や音の広がりを



熱い思いを黄と赤のパンジーでハートに



感謝の心をこめて
バラの花束を贈呈



間15分、公民館大広間を使って、全17回開催するもので、自治会事業と位置付けています。心地よい楽器の音色を聴きながら、自然にリズムに乗ってリフレッシュ!!「歌う」「楽器に触れる」「聴く」を柱に音楽を楽しみながら体験していく教室です。簡単な楽器を演奏したり、歌に合わせて体操したり、音楽を楽しみながら元気になりましょう。内容と効果としては、♪リズムに乗って手足を使いながら、脳のトレーニングやストレッチをします。♪歌うときの呼吸やお口を鍛えて、心肺機能を強化します。♪(パンフより)

先月、閉校するにあたり発表会が開催されることとなった。そこで音楽療法をさらに効果的にサポートしようと園芸福祉の心が頭をもたげ、発表会開催を祝って、公民館の入口花壇をウェルカム花壇に仕上げようと一計を案じ、自治会長に相談したところ「全てお任せします」。とのこと。早速デザインを考え、土壌を改良し、花苗を選び、バックに一行、ピンク系のルピナスですくくと立ち楽しそうに歌う姿と五線紙に踊る音符をイメージして配植。手前左から右奥へデージーやパンジーで音の広がりを円弧状に。中央にはこの音学校に2年間関わってこられた自治会長の熱き思いを中心部の黄色と外周を赤系パンジーでハート型に、周囲に元気を得た人々をブルー系で描いた。発表会の終わりにお世話になった市の担当者と講師に贈る花束はバラを提案して知り合いのバラ園に依頼。懇親会のお弁当は、地元農産物を主体として加工販売している古賀市の農家の婦人で構成された「まんまみーや」に高齢者向けのメニューを発注しました。活き生き音学校の発表会は発音発声練習に始まり、歌の発表は初めに「朝はどこから」「旅愁」などなど耳慣れた曲が多くつい口ずさんで招待者席からも小さな歌声が聞こえる。選曲は参加者のリクエストによるものです。ハンドベルやギターの演奏など順調にプログラムは進み、終わりの曲はベートーベン第九より「喜びの歌」。高齢者とは思えないはりのある美しい声が大広間に響き、笑顔あふれる素晴らしい発表会でした。花壇や花束、弁当のことを自治会長が披露され、「うれしい、すごくきれい」「バラの花を頂いたけど長く楽しむにはどうしたらいいですか」とか「このお弁当おいしい」などと言って皆さんが喜んで下さったので、園芸福祉的発想で取り組み達成感を味わうことが出来て幸せなひと時でした。花壇づくりや発注交渉、花束受け取りなど忙しい思いはしましたが、土に、花に、かかわった方々にいっぱい元気をいただくことが出来、何歳か皆さんと共に若返ることが出来た?かもしれない。(#^.^#)

■ アイランド シティ中央公園「園芸福祉の庭」定例管理作業のお知らせ

毎月・最終日曜日 午前10時から花の植栽や除草などの作業をしています。

■ 事務局よりお知らせ

会員のみなさまへ、逸早く情報をお伝えするためにあなたのメールアドレスの登録をお願いします。

携帯、パソコンから、件名のところにご自分のお名前だけ書いて事務局宛に送信していただければ結構です。

また、事務局からのメールは、BCCで一斉配信しておりますので、返信メールの時は、お名前も一緒にご連絡頂けると嬉しいです。

園芸福祉ふくおかネット事務局(黒瀬) アドレスは engeifukusi.fukuoka@hya.bbq.jp